

小学校 運動発表会

9月19日(日)に町内3小学校の運動発表会が開催されました。
児童達はかけっこやダンス、組体操などこれまで練習してきた成果を精いっぱい発揮し、最高の競技・表現ができました。



富士見小学校



本郷小学校



境小学校

富士見中学校 白鈴祭

10月1日(金)、2日(土)に富士見中学校の白鈴祭が開催されました。
今年は「星煌～一人一人が星のように輝き、会員全員が集まって煌めく生徒会」というスローガンを掲げました。
初日の体育祭は、校庭で大縄跳び、障害物競争、縦割り綱引きを行い、全校が1つになって盛り上がりました。教科発表や部活動発表なども工夫して行われました。
今年もコロナ禍で制約のある中での開催でしたが、その中でも一人一人がこれまで積み重ねてきた力を発揮できた白鈴祭でした。



石鹸作り体験

10月5日(火)に本郷保育園の青組さんが、地元産ハーブを使った石鹸作りの体験を行いました。講師は、町で地元産の素材を使って石鹸作りをしている小古間(こごま)さんです。

はじめに石鹸素地をよくこねて柔らかくして、そこに地元産のハーブ(ラベンダー、カモミール、カレンデュラ)を自分で好きな分量ずつ混ぜて、さらにラベンダーかオレンジの香りを付けました。それをハートやお花の型に入れて、石鹸の形を作りました。子ども達は良い香りに包まれながら、楽しく体験を行いました。

体験は町内5保育園で順に行われます。



就学援助の入学前支給のお知らせ

問 子ども課 総務学校教育係 ☎62-9235

町では、令和4年4月に小学校、中学校に入学予定の子ども(新1年生)の保護者で、就学援助の要件に該当される方を対象に、就学準備のための**新入学用品費**を入学前に支給します。

受給には申請が必要です。

【就学援助】経済的な事情等で子どもの学校生活に関わる費用を支払うことに困難が生じている家庭に対し、その費用を援助する制度です。

【新入学用品費】カバンや体操着、制服等の入学前に準備する物品にかかる費用です。

【支給予定額】・小学校入学予定の子ども(1人当たり) 51,060円
・中学校入学予定の子ども(1人当たり) 60,000円

・ご不明な点がありましたらお問い合わせください。



富士見町

教育委員会だより

第191号

「教育のまち・子育てのまち・学び続けるまち富士見」を目指して

令和3年11月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp

11月

定例教育委員会

11月11日(木)

午前9時40分～
役場2階 教育長応接室

子どもに関する
なんでも相談

月曜日～金曜日

午前8時30分

～午後5時15分

☎62-9233

家庭・教育・子育て

相談員

11月21日

(第3日曜日)は

家庭の日・

家庭読書の日

寒くなり運動不足になりがちな時期ですが、親子でジョギングやウォーキングをし、体力向上と親子のコミュニケーションにつなげましょう。





11月は『児童虐待防止推進月間』です

子育てを担うことは、大変なことです。子どもに腹が立ったり、イライラすることも…。
以下のポイントも参考に子どもと向き合い、周囲の力を借りながら子育てをしていきましょう。

<子育てのポイント>

- ①子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう。
- ②「言うことを聞かない」にもいろいろあります。
- ③子どもの成長・発達によっても異なることがあります。
- ④子どもの状況に応じて、身の回りの環境を整えてみましょう。
- ⑤注意の方向を変えたり、子どものやる気に働きかけてみましょう。
- ⑥肯定文でわかりやすく、時には一緒に、お手本に。
- ⑦良いこと、できていることを具体的に褒めましょう。

<保護者自身の工夫のポイント>

- ①否定的な感情が生じたときは、まずはそういう気持ちに気づき認めることが大切です。
- ②自分の時間や心に余裕がないときは、深呼吸して気持ちを落ち着け、ゆっくり5秒数えたり、窓を開けて風にあたって気分転換しましょう。
- ③周囲の力を借りると解決することもあります。勇気をもってSOSを出すことで、まだ気づいていない支援やサービスに出会えたりします。

児童虐待とは

身体的虐待：殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる等

性的虐待：子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィティの被写体にする等

ネグレクト：家に閉じ込める、食事を与えない、必要な医療を受けさせない、車の中に放置する等

心理的虐待：言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの前で暴力をふるう等



○こんなサインを出しているかもしれません

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- ・不自然な傷や打撲の跡がある
- ・表情が乏しい、活気がない
- ・地域などとの交流が少なく孤立している
- ・強い不安や悩みを抱えている

子育てや出産に関する悩みやご相談を受け付けています

- ・児童相談所全国共通ダイヤル ☎189(いちはやく) ※24時間対応
- ・富士見町子ども家庭総合支援拠点 ☎62-9233

連絡は匿名でも可能です

はじめの一歩 Part 14

「ドラッグ」「フリック」「ピンチアウト」…。この言葉は今や認識されつつある言葉ですね。町内小中学校に一人一台タブレットが配備され、小学校1年生の教室でも授業に活用されています。授業での子ども達の活動を見ているとどの子もIDやパスワードを入力して目的のソフトを自由に活用している姿に驚かされます。(中には途中の操作が分からず、友達に教えてもらう姿もありますが、これはこれですばらしい姿だと思います。)

そんな子ども達を見ていて思い出されるのが、保育園にお子さんを通わせる保護者との懇談での会話です。「家ではどんな遊びをしていますか？」に対して「ユーチューブやゲームに夢中になっています。」というお話もあります。タブレットの画面を指先で「スワイプ」したり、「ワイプ」したりするのに慣れている小学生の姿を見ると頷けます。ただ単に「保育園児がスマホを」と言うのではなく、これからの子ども達はそのリテラシーは必需のものです。しかし、考えなくてはいけないことは、最後は顔と顔を合わせた(face to face)でのコミュニケーション力です。お子さんの顔を見ながら『今日、あったできごと』を聞いてあげてください。食事中にスマホをいじっていませんか？



(家庭教育相談員 伊藤 十三雄)